

● 令和7年度事業計画

◎ 概要

高規格道路をはじめとする道路網の形成は、地域経済の活性化、高次医療施設への搬送時間の短縮や周辺道路の交通渋滞、交通事故などの解消、さらには火山噴火など大規模災害時の代替ルート機能確保のため、全国各地における必要性が高まっている。

特に北海道は、他の都府県に比べて広大な面積の中、広域分散型の地域構造を有しているため、高速で円滑に移動・輸送ができる高規格道路ネットワークの必要性が極めて高いことから、高規格道路のミッシングリンクの解消は大変重要なものと考えている。

高規格道路は産業の発展や地域の振興と安全安心のために真に必要な道路であり、今後とも国策として必要な予算を確保し、整備が推進されるべきである。

後志地域は、豊かな自然に恵まれ、良質な食料の生産地であるとともに、多くの観光客を受け入れており、「食」と「観光」を一層強化するとともに、「脱炭素化」におけるポテンシャル等の北海道が持つ資源・特性を最大限に生かす必要があるとされた第9期北海道総合開発計画の目標達成に向けた取組をリードする地域である。

北海道横断自動車道「黒松内～小樽間」は、高規格道路による道央圏大環状を形成する重要な区間であり、この大環状のミッシングリンクの解消は、北海道の基幹産業である食と観光を支え、更には安全・安心に住み続けられる国土強靱化に寄与し、命を繋げる道となるものと期待される。

黒松内～小樽間の整備は、道央圏との所要時間を短縮し、広域観光化の推進や物流を効率化するとともに、生産空間としての役割を発展させるものであり、同時に国道5号や太平洋側の災害時の代替性を発揮するほか、緊急搬送に要する時間の短縮や走行性が向上し、命の道としての期待も大きく、様々な面から整備効果が期待できる。また、平成30年12月に開通した「余市～小樽間」に続く、「仁木～余市間」が本年3月に開通したところであり、これにより災害時の代替路強化や市街地の交通渋滞緩和が期待される。

以上のことから、次の事項について、北海道や他の期成会とも連携しながら、国及び関係機関に対し引き続き要望活動を積極的に展開していく。

◎ 要望項目

● 道路整備関係予算の確保等

- 1 頻発する自然災害に備え、令和7年度までの「5か年加速化対策」以降も国土強靱化の取組を継続的・安定的に切れ目なく進めるため、国土強靱化実施中期計画に基づき、今後の人件費や資材価格の高騰等の影響を適切に反映した必要な予算の確保
- 2 経済の活性化や生産性向上に向けた高規格道路のミッシングリンクの解消など幹線ネットワークの強化
- 3 道路の安全・安心の確保に向け、橋梁、トンネル、舗装等の老朽化対策や交通安全対策・無電柱化の推進と必要な予算の確保
- 4 物価や人件費の上昇も加味した上で、山積する道路整備の課題に対応していくため、新たな財源の創設及び必要な予算の確保

● 北海道横断自動車道（黒松内～小樽間）の早期整備について

- 1 小樽ジャンクションのフルジャンクションでの早期完成
- 2 後志自動車道（倶知安余市道路「倶知安～共和間」「共和～仁木間」）の早期開通
- 3 蘭越倶知安道路「ニセコ～倶知安間」の早期工事着手
- 4 蘭越倶知安道路「蘭越～ニセコ間」の早期新規事業化
- 5 北海道横断自動車道「黒松内～蘭越間」の調査促進

◎ 事業の実施

- ・ 会議の開催（理事会・総会の開催）
- ・ 国土交通省、北海道開発局等への要望活動
- ・ 北海道高速道路建設促進期成会等の活動への参加
- ・ 広報・啓発活動及び情報収集等